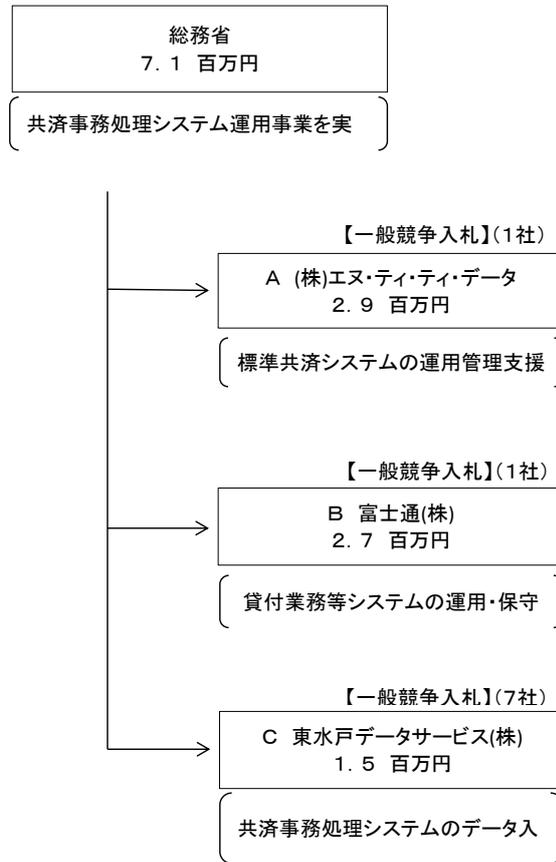


平成23年行政事業レビューシート (総務省)

事業名	共済事務処理システム運用事業		担当部局庁	大臣官房会計課		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～平成22年度		担当課室	大臣官房会計課		福田進吉		
会計区分	一般会計		施策名	電子政府・電子自治体の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国家公務員共済組合法第12条 総務省組織令第23条		関係する計 画、通知等	共済業務・システム最適化計画(平成16年7月30日各府 省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	共済業務・システム最適化計画に係る取組の一環として、共済事務における電算処理機能の充実化、オンライン化による業務の効率化・合理化を図り、共済組合員等の利便性の維持及び向上並びに業務処理の簡素化を目的として開発された「共済事務処理システム」の維持・運用を行う。なお、この事業は、共同センタの利用開始をもって、総務省として目的が達成され廃止とした。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	共済事務処理システムは、組合員やその家族の医療情報等の個人情報と資源とするシステムであることから、安全性・信頼性の確保及び個人情報の保護に関して、総務省情報セキュリティポリシーに基づき、稼働実績データの分析によるシステムの不具合等の検査及びセキュリティの監査を実施する。また、診療報酬明細書(レセプト)のデータについて、共済事務の合理化・効率化を図るため、データ入力委託を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	10	10.2	9.5	0	0	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	10	10.2	9.5	0	0	
	執行額	8.5	8.1	7.1				
執行率(%)	85	79	75					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	システムの安定稼働(稼働率)		成果実績	%	-	-	99	
			達成度	%	-	-	100	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	基幹となる標準共済システムを本格稼働、実用化し、高度なセキュリティによる適正な情報管理と電算化による業務の効率化を図る。		活動実績 (当初見込み)		-	-	共同センタ 利用開始 () ()	-
単位当たり コスト	共済システム 441.8(円/組合員一人当) 貸付システム 2,198.9(円/1件当) レセプト穿孔 10.5(円/1件当)		算出根拠	共済システム 294万円/6654人=441.8円/組合員一人当たり 貸付システム 270.9万円/1232件=2,198.9円/1件当たり レセプト穿孔 155万円/147,787件=10.5円/1件当たり				
平成 23 ・ 24 年 度 予 算 内 訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	共同センタ利用開始により事業の廃止とした		
予算監視・効率化チームの所見			
	22年度で終了		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)エヌ・ティ・ティ・データ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	標準共済システムの運用管理支援	2.9			
計		2.9	計		0
B.富士通(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	貸付業務等システムの運用・保守	2.7			
計		2.7	計		0
C.東水戸データサービス(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	共済事務処理システムのデータ入力作業	1.5			
計		1.5	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティ・データ	標準共済システムの運用管理支援	2.9	1	91.5
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通(株)	貸付業務等システムの運用・保守	2.7	1	99.5
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東水戸データサービス(株)	共済事務処理システムのデータ入力作業	1.5	7	45.9
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					